

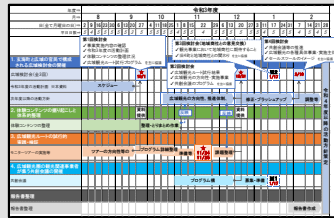
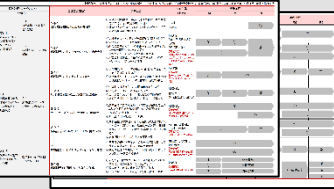
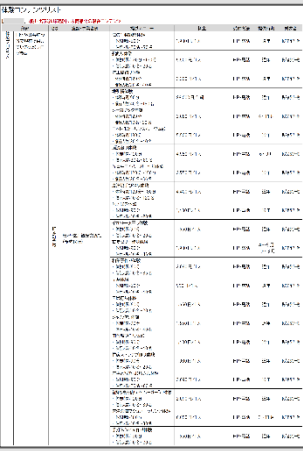
■本事業の背景・目的

玄海原子力発電所の立地自治体であり、観光資産として「浜野浦の棚田」を有する玄海町は、町内の消費の受け皿や、観光時期の集中、年間を通じた観光流動の拡大や消費促進による地域経済への波及効果を高めることが課題となっている。

また町単独では観光資産や人的リソースが十分ではないという課題があり、その解決のために、玄海町を含む広域観光圏について、地元関係事業者や周辺自治体との連携による観光事業の推進を段階的に進めていくことが求められている。

令和2年度においては、広域観光の推進に向けた活動ロードマップ等を作成したが、令和3年度も引き続いて、九州経済産業局において、広域連携による観光振興のための取り組みを支援するとともに、魅力ある観光ルートの開発や受入れ体制構築に必要な調査事業を行うことを目的とする。

■事業の実施事項

実施事項 1	玄海町と広域の官民で構成される 広域検討会の開催及び活動計画・ 活動方針の策定	実施事項 2	体験コンテンツの掘り起こしと 体系的整理
○ 広域検討会の立ち上げ及び開催（4回実施） ○ 令和3年度の活動計画の策定 ○ 令和4年度以降の活動方針の策定	【令和3年度の活動計画】  【令和4年度以降の具体事業】 	○ 体験コンテンツの体系的整理 ○ 潜在的な体験コンテンツの掘り起こし整理	【体験コンテンツリスト】 
実施事項 3	広域観光ルートの 試行的実践・検証	実施事項 4	広域観光圏の観光関連事業者が集う 共創会議の開催
○ 広域観光ルートの精査およびモニターツアーの実施 ○ モニターツアー参加者からのフィードバックおよび成果・課題等の抽出	【モニターツアーの実施】 	○ 観光関連事業者への呼びかけ及び共創会議の企画・立ち上げ ○ 共創会議の実施（1回）※ ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面での会議は中止。今後の共創会議実施に向けて事業者に対して、企画や参加メリット等の周知を行った。	【共創会議チラシ】 

■広域観光の方向性

方向性1 『教育旅行型』モデルルート

上場4町から学び、考える 『SDGs』スタディールート

■学校・子ども向け（教育旅行など）

【概要およびルート】

原子力発電施設や、次世代のエネルギーについて学ぶ場である、「玄海町次世代エネルギーパークあすぴあ」の立地、豊かな自然環境や食資源・文化を有する広域観光エリアの特徴を踏まえ、本エリアから、エネルギーや自然環境、地域の産業・食の面からSDGsを学んでもらい、次世代の子ども達に自分たちに何ができるかを考えてもらうスタディーコースを提供する。

ルートイメージ

①「あすぴあ」にてSDGs事前レク、エネルギー学習 → ②産業（みかん狩り、農体験）自然（マリンスポーツ）、生態系（魚さばき体験）に分かれてSDGs体験学習 → ③「あすぴあ」にてSDGs振り返り学習

【ルートの特徴・推進の方向性】

○SDGsの事前学習、振り返りを「あすぴあ」で実施。SDGs視点から体験を楽しみ、気づきをもってもらようようにする。

○「学習シート」作成・配布など、各プログラムでの学び、気づきを記載してもらえるようにする。

○エネルギーに関する学びの場の提供や、SDGsの取組推進により、上場エリアのイメージアップにつなげる。

○施設の団体受入や交通環境の面を含めて、長期間かけて推進方策等を検討・試行・実施していく方向が望ましい。

方向性2 『交流・ファン構築』型モデルルート

「第二の故郷」をつくろう！ボランツーツリズムルート

■ファン・リピーター（構築）向け

【概要およびルート】

豊かな自然や食資源、美しい景観を有する本エリアについて、地域の人々との交流やボランティア（お手伝い）を通じて、その生活や地域の暮らしを感じる、また歴史文化について知ってもらうことで、「第二の故郷」として本エリアを親しんでもらうための観光ルートを提供する。

ルートイメージ

①事業者おてつだい、体験、昼食など（1日目）→ ②みかん狩り、佐賀牛バーガーづくり、名護屋城観光、唐津観光など（2日目）

【ルートの特徴・推進の方向性】

○お手伝いの受入や地域の農家などとの交流など、地域の事業者と交流できるプログラムを取り入れる。

○中長期的な視点を持ち、本エリアを継続的にリピートしてもらえる「ファン」の増加や、これに伴い、ふるさと納税、産品購入等につなげるなど、「関係人口の構築」を主目的にする。

○地域との関係づくりを進める手段として、受入可能な事業者等の発掘とあわせ、モデル的に試行をして進めることが望ましい。

方向性3 『個人旅行』型モデルルート

イカだけじゃない！上場のハンバーグを食べくらべ！ルート

■一般（家族連れ）向け

【概要およびルート】

豊かな自然や食資源、美しい景観を有する本エリアについて、地域の人々との交流やボランティア（お手伝い）を通じて、その生活や地域の暮らしを感じる、また歴史文化について知ってもらうことで、「第二の故郷」として本エリアを親しんでもらうための観光ルートを提供する。

ルートイメージ

①朝食（呼子朝市）→ ②上場エリア観光・探索等 → ③ハンバーグランチ及び冷食購入 → ④農産品購入など（ひぜん夢美味ほか）

※移動はマイカー想定

【ルートの特徴・推進の方向性】

○「佐賀牛」（ハンバーグ）が堪能できるという点をフックに、プログラムを構成。

○ハンバーグランチや、冷凍の持ち帰りにより、食べくらべができるようにする。

○ミニハンバーグやお土産セットの販売など、各事業者との販売商品連携も展開していく。

○地域での高い観光消費を念頭に置いた、「一人あたりの観光消費額」の向上に貢献する観光プランとして優先的にルート組成に取り組む。

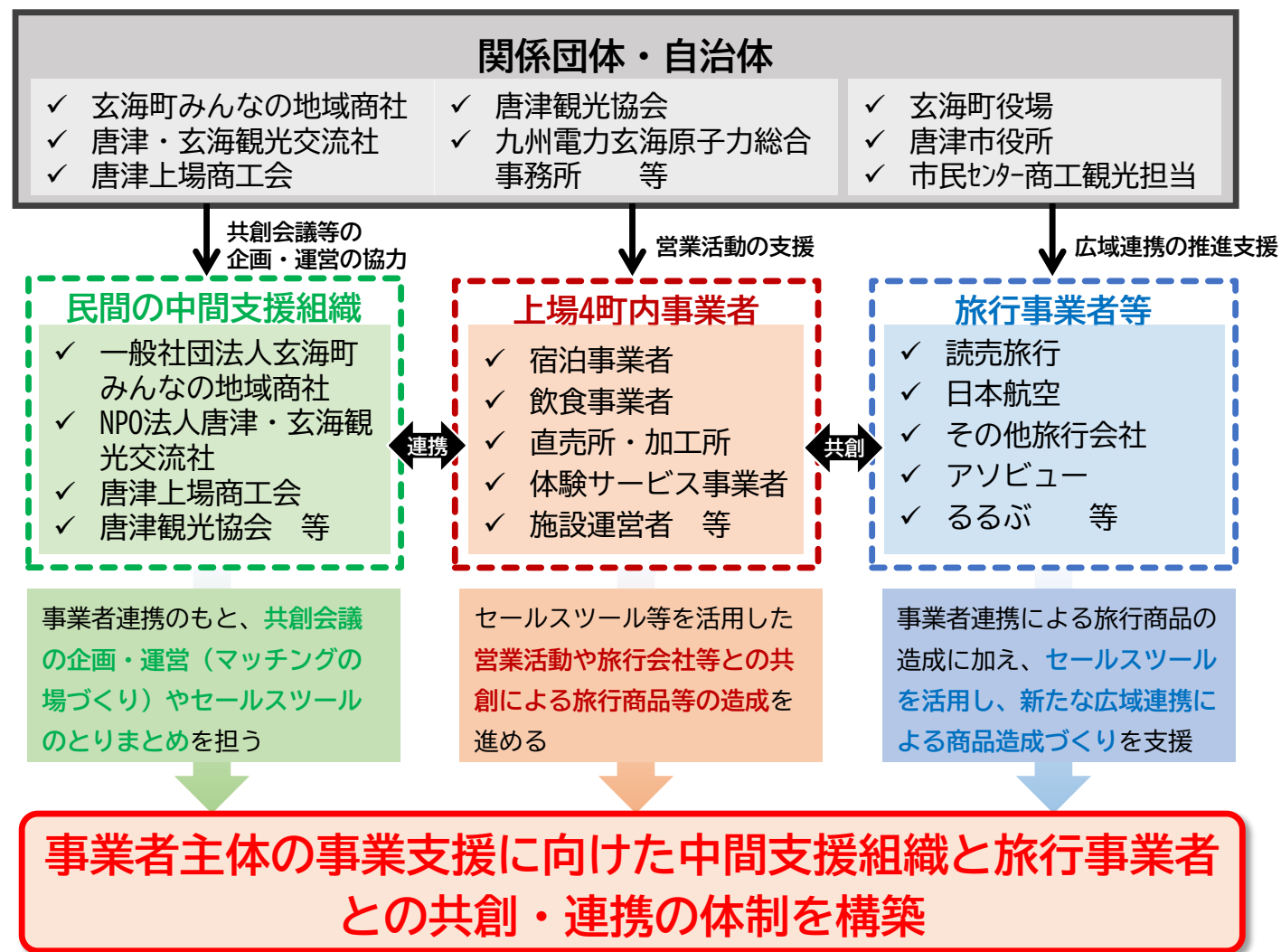
■広域観光の推進体制

上場4町内事業者が主体となった旅行商品の造成等の事業を支援するために民間の中間支援組織や旅行事業者、関係団体・自治体との共創・連携の体制を共創会議や関係者会議（広域検討会等）を通じて構築。

広域観光や事業者の事業支援を推進するにあたり、民間の中間支援組織は、上場4町内事業者と旅行事業者等とのマッチングの場として共創会議の企画・運営を行うほか、会議参加者名簿をもとにセールスツールのとりまとめを行う。また、上場4町内事業者は、中間支援組織がとりまとめるセールスツールを活用し、自ら旅行事業者や旅行事業者等とつながる宿泊宿等の個々の事業者、個人旅行者向けの営業活動や旅行事業者等との共創による旅行商品等の造成を進める。旅行事業者等は、事業者共創による旅行商品の造成に加え、セールスツールを活用し、新たな広域連携による商品の企画を行う等、新たなコンテンツ発掘を支援する。

上場4町内事業者が主体となり、民間の中間支援組織や旅行事業者等、それを支援する関係団体や自治体が一丸となって広域観光を推進することのできる体制を構築する。

■広域観光の推進体制図



■具体事業計画（活動計画ロードマップ：R2）

■活動計画ロードマップ（令和2年度作成）

取組方針	ロードマップ				
	取組年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度以降
	取組主体	玄海町	玄海町・唐津市	民間事業者メイン・行政サポート	
方針① 広域観光圏として 来訪・周遊を促す仕掛けづくり 【ルート構築】	観光動態の把握・検証 現状整理	✓統計データ分析 ✓来訪者および事業者の意向把握 ✓観光課題の把握	✓広域エリアでの有償化できる体験コンテンツの発掘とリスト整理	-	✓来訪者動態調査によるモデルルート周知後の動態把握（事業成果の把握）
	広域観光ルートの整理・構築	✓関係事業者による観光ルートの検討（勉強会） ✓大学生ワークショップの実施	✓モニターツアー等による広域観光ルートの試行・検証 ✓課題を踏まえたルートのブラッシュアップ	✓基本対象エリアの広域観光モデルルートの設定（3ルート） ✓連携対象エリアを含む新たな広域観光ルートの検討	✓連携対象エリアを含む広域観光ルートの設定（3ルート）
方針② 広域観光圏の魅力を体感できるコンテンツや商品造成 【商品造成】	広域観光のコンセプトに合致した商品造成	✓広域観光のコンセプト・ターゲット等の設定	✓広域観光ルート・体験コンテンツを販売するための具体的方策の検討	✓体験コンテンツの有償販売の仕組みづくり ✓広域観光ルートのツアーパッケージ採用に向けた営業活動	✓体験コンテンツの常時提供 ✓ツアーパッケージの販売・運用
方針③ 広域観光圏の魅力を伝える取組づくり 【観光PR】	観光ルートをPR・推進する取組の推進	-	✓広域観光情報の発信や広域観光推進体制の検討	✓広域観光情報の発信・推進体制の確立 ✓PR方策等の検討	✓観光雑誌等の掲載 ✓HPや各種メディアでのルートの発信・周知活動
	各市町の魅力をPRする取組の推進	-	✓各自治体の既存コンテンツPR方法の情報交換・方向性検討	✓方向性に基づくPRの推進・実施	✓方向性に基づくPRの効果検証
方針④ 広域観光や連携を推進する体制構築 【体制整備】	市町同士の連携体制構築	-	✓玄海町・唐津市の官民関係者を集めた検討の場の設置	✓広域観光モデルルートに関する推進施策や推進・支援方策等の検討	✓広域観光モデルルートに関する推進・支援施策等の実施
	観光事業者同士が連携できる場の構築	✓町内関係事業者による意見交換会の実施	✓玄海町・唐津市内等の事業者による連携会議の実施（広域観光に関わる人材や資源の掘り起こし、意見交換等）	✓（仮称）うわば観光共創会議の立ち上げと定期開催 ✓共創プロジェクト（地域間連携事業）のアイデアブレスト	✓（仮称）うわば観光共創会議の継続 ✓共創プロジェクト第1弾試行事業の実践

緑枠について詳細化した「具体事業」を次頁以降に示す。

■ 具体事業計画

※地域商社：一般社団法人玄海町みんなの地域商社 / 交流社：NPO 法人唐津・玄海観光交流社 / 観光協会：一般社団法人唐津観光協会 / 商工会：唐津上場商工会

活動計画(ロードマップ)		具体事業(取組)	事業概要	実施主体 (想定)	実施工程		
取組方針					R4	R5	R6
■方針 1 広域観光圏として 来訪・周遊を促す 仕掛けづくり 【ルート構築】	1-1 観光動態の把握・検証、 現状整理	1-1-1 来訪者動態調査等による効果検証	①来訪者動態調査の実施・分析(令和2年度と同様の調査による比較及び効果検証) ※調査の実施主体として地域商社との連携や活用による調査等も考えられる	玄海町 唐津市			①
	1-2 広域観光ルートの整理・構築	1-2-1 広域観光ルートのブラッシュアップ・内容充実	①広域観光ルートの確定・準備調整等(個人向け等) ②広域観光ルートの運用(随時ブラッシュアップ) ③新たな広域観光ルートの検討・確定(教育旅行やリピーター獲得に向けたもの等) ※教育旅行分野は交流社と地域商社連携 ④来訪者動態調査等に基づく広域観光ルートのブラッシュアップ、新ルートの整理	地域商社 (個人向け旅行ほか) 交流社 (教育旅行等) 【事業者】 地域商社等と調整し、体験商品等の提供や、ルート等にあわせた商品造成等を実施	①	②	④
■方針 2 広域観光圏の魅力を体感できるコンテンツや商品造成 【商品造成】	2-1 広域観光のコンセプトに合致した商品造成	2-1-1 広域観光ルートの販売および運用	①広域観光ルートの誘客手法の整理(団体旅行・個人旅行それぞれ)と試行 ②旅行会社へのセールスツールを活用した営業活動(広域観光ルートを使った団体旅行造成が目的)	地域商社 【事業者】 セールスツール等を活用した旅行関連会社等へのPR活動	①	②	
		2-2-1 「浜野浦の棚田」の活用プログラムの検討	①企画および試行(カフェ、棚田米の販売など) ②試行結果の検証および再試行など ③活用プログラムや活用手法などの方向性決定 ※玄海町地域おこし協力隊との連携により進める	地域商社 玄海町 (地域おこし協力隊ほか)	①	②	③
		2-2-2 ツアーと一体化した「お土産セット」の開発	①広域連携や広域観光ルートの内容と連動した上場エリアをPRできるお土産セットの企画・開発 ※継続して検討していく ②お土産セットの販売(第1弾)	地域商社 【事業者】 地域商社等と連携した、お土産商品の開発実施		①	②
		2-2-3 各店舗・施設の魅力向上に向けた検討・支援	①共創会議や事業者研修等と連動した店舗支援策などの検討(商品造成や観光サービス等に関する個別アドバイザー支援や、事業者のチャレンジ補助など) ②支援、魅力化向上に向けた方策実施等	商工会、地域商社 玄海町、唐津市 【事業者】 支援策を活用した実践等	①		②
		3-1-1 広域観光ルートにおけるメディア等への発信	①各団体の既存メディアへのルート記事掲載、佐賀県観光連盟などを通じた情報発信活動 ②観光情報冊子や観光サイトの制作時などにおけるプレスリリースの積極的活用	観光協会、交流社、 地域商社 【事業者】 事業者自身の情報提供ほか、情報発信活動への参加		①	
■方針 3 広域観光圏の魅力を伝える取組づくり 【観光PR】	3-1 観光ルートをPR・推進する取組の推進	3-1-2 広域観光PR資料・ツールなどの作成	①旅行会社向けのセールスツールの作成と、お試し営業によるツールのブラッシュアップ ②個人旅行者向けの観光情報冊子の作成 ③デジタルツールの活用等、情報発信戦略の検討	地域商社 【事業者】 事業者自身の情報提供等	①	②	③
						①	②
						①	②
						①	②

■具体事業計画

※地域商社：一般社団法人玄海町みんなの地域商社 / 交流社：NPO 法人唐津・玄海観光交流社 / 観光協会：一般社団法人唐津観光協会 / 商工会：唐津上場商工会

活動計画(ロードマップ)		具体事業(取組)	事業概要	実施主体 (想定)	実施工程		
取組方針					R4	R5	R6
	3-2 各市町の魅力を PR する取組の推進	3-1-3 広域観光の起点・拠点となる施設の設定・創出	①肥前名護屋城など旧各町の観光拠点設定と情報ツールの設置状況調査 ②玄海海上温泉パレアの道の駅化の検討 ③各拠点での観光情報冊子設置など情報発信強化	玄海町、唐津市 地域商社 【事業者】 情報冊子の設置協力等	①	③	
		3-2-1 既存施設・店舗などの PR 推進	①観光情報冊子で掲載する施設・店舗の絞り込み、取材活動 ②観光サイト、SNSなどを活用した継続的な情報発信(取材を踏まえた記事としての情報発信活動) ③飲食店周遊型のドライブキャンペーンの企画実施	地域商社 【事業者】 取材協力や SNS 等を活用した観光の情報やキャンペーン等の発信 PR	①	③	
		3-2-2 エリアの食資源の一体 PR やブランド化推進	①上場エリアの食資源を PR するイベントへの出店 ②RV パーク利用者等への食材割引フェアの企画 ③宿泊施設や飲食店と、地元産の海産物・農産物・畜産物の取引マッチング活動	地域商社 【事業者】 イベントの出店、フェアの企画参加、地域商社等と連携した特産品のマッチング活動の実施	①	②	③
■方針 4 広域観光や連携を推進する体制構築【体制整備】	4-1 市町同士の連携体制構築	4-1-1 広域観光推進に向けた市町同士の情報交換推進支援策検討	①玄海町、唐津市(旧各町の関連部局含む)との定期的な意見交換の場づくり(広域検討会等の継続)	玄海町 唐津市		①	
	4-2 観光事業者同士が連携できる場の構築	4-2-1 事業者との情報共有・交換の定期開催	①共創会議やオールげんかいミーティングを通じた広域エリア内の事業者との意見交換の実施 ②旅行会社等との定期的な意見交換会の実施	玄海町 地域商社 【事業者】 各種会議への参加および町、商社と連携した企画等		①	②
		4-2-2 共創会議によるコンテンツ組成等の推進	①共創会議等におけるエリア内事業者と旅行会社等とのマッチングの場づくり ②共創会議等の参加事業者のリストと事業者情報の定期的な更新(セールスツールの作成・更新)	地域商社 【事業者】 研修参加および研修・実践したい内容等の企画・検討等		①	②
		4-2-3 観光推進に向けた事業者向け研修等の実施	①研修実施等に係るニーズの把握 ②観光事業者のレベルアップにつなげる「おもてなし講座」や情報発信力の向上に資する研修など、ニーズに沿った研修の実施 ③観光事業者と専門家が伴走するフォローアップ研修の実施(個別訪問等による専門家アドバイス)	地域商社 【事業者】 研修参加および研修・実践したい内容等の企画・検討等	①	②	③
(その他)		5-1-1 受入環境施設・設備等の整備検討	①浜野浦の棚田周辺における駐車場整備 ②浜野浦の棚田の展望台のカフェ化等 ③その他観光施設や環境整備など(道路環境整備、サイン整備、トイレの洋式化、Wi-Fi 環境など)	玄海町 唐津市 地域商社		(計画検討)	① ② ③